

矢板市復興交付金事業 住宅団地別進捗状況

各段階における地域住民及び関係者の合意形成

●地質及び測量調査

地質調査：住宅団地の造成時に盛土されたところにおける地震時の安定度判定を行います。
測量調査：住宅団地の現況を測量により把握します。

●予備調査・用地調査

地質及び測量調査の結果、対策が必要と判定された箇所にもっとも最適な対策工法を選定します。
対策に必要な用地の調査を行います。

●詳細設計

決定した対策工法をどの場所にどの程度行えば、安全性が確保できるかを検討し、その結果が対策工事に反映されます。

●造成宅地防災区域の指定（県指定）

地質調査の結果、対策が必要と判定された箇所に対して造成宅地防災区域の指定を行います。
これは、大地震などの際に災害の生じる恐れが大きいことを周知するために行うものです。

●対策工事(場所打杭工・鋼管杭)

詳細設計をもとに対策工事を行います。
工事の方法・規模によりその期間が大きく変わります。
工法によっては個人の土地に施工することもあります。

●効果促進事業

対策工事の効果をより高めるために、市道等の整備を行います。おもに、雨水の土壌への浸透防止や対策区域内の排水対策などを行います。

●造成宅地防災区域の指定解除（県指定）

造成宅地防災区域の指定解除を行います。
これは、再度災害防止のための工事が完了し、区域指定の事由がなくなったことを周知するために行うものです。

成田地区
ハッピーハイランド
住宅団地

完了

完了

完了

平成25年
2月1日指定

完了

完了

平成28年
5月17日
指定解除

中地区
ピンシティ
住宅団地

完了

完了

完了

平成25年
2月1日指定

完了

完了

平成28年
5月17日
指定解除

中地区
日拓
住宅団地

完了

完了

完了

平成25年
2月1日指定

完了

完了

平成28年
5月17日
指定解除